

自衛隊神奈川地方協力本部

第1回みんなのやまとフェスティバルで広報活動を実施

自衛隊神奈川地方協力本部厚木募集案内所（所長 明神忠雄3等海佐）は、8月24日（日）、大和市で開催された『第1回みんなのやまとフェスティバル2025』に参加し、陸上自衛隊第4施設群及び厚木管内自衛官募集相談員会の支援を受け、広報ブースを出展した。

「地域とのつながり」と「にぎわい創出」をテーマに、今年度から始まった市民交流イベントで、『みんなで〇〇してみよう』を合言葉にさまざまな催しやブースが展開され、会場は多くの家族連れでにぎわった。

厚木募集案内所のブースでは、『自衛隊の車両に乗ってみよう』と題して、車両展示を行った。来場者からは「かっこいい」という声のほか、「これは何のためにあるのか」「後部座席はどうなっているのか」といった質問が寄せられ、大人も子どもも興味津々だった。さらに、『自衛官になってみよう』として、子ども向けの迷彩服試着体験を実施し、猛暑にもかかわらず多くの子供たちが参加した。試着姿には「かわいい」「似合ってる」「将来は自衛隊だね」といった声が上がリ、会場は笑顔であふれていた。

この日は神奈川地本キャラクター『たま』も登場し、子供たちと写真を撮ったり握手をしたりして、相変わらずの人気ぶりを見せた。

広報官たちも酷暑に汗を流しながら、地域との交流に充実感を得つつ、イベントは盛況のうちに幕を閉じた。

厚木募集案内所は、「今後も地域に根ざした募集広報活動を展開し、自衛隊・自衛官への理解促進に努めていく」としている。



人気のたま



交流！！



募集相談員の支援

厚木南地区合同防災訓練で住民と交流

自衛隊神奈川地方協力本部厚木募集案内所（所長 明神3海佐）は、8月31日（日）、令和7年度厚木南地区自主防災隊合同防災訓練に参加し、広報活動を行った。

本訓練は、大規模災害発生時に被害を最小限に抑えるため国・県・市町村、防災関係機関に加え、住民相互の緊密な連携を図り、総合的な災害対処能力を向上させることを目的として実施された。厚木募集案内所では、災害派遣活動を紹介するパネルや個人装備品を展示し、地域住民に自衛隊の活動について説明を行った。

広報ブースでは、災害派遣に関する質問が相次ぎ、「派遣期間は？」「大変だと思うときは？」といった声が多く寄せられた。また、背囊（はいのう）（20kg）を実際に担いだ参加者からは「重たい！」「これを本当に背負うのか」「これで動けるのか」と驚きの声が上がると、大きな関心を集めていた。訓練の終盤には、地域住民から「何かあったら頼むよ」「大変だろうけど頑張って」といった激励や期待の言葉も多数いただいた。

今回の訓練は小規模ながら、厚木募集案内所に隣接する地域での実施であり、住民と顔を合わせ、言葉を交わすことで地域交流を深めるとともに、いざというときの連携にもつながる貴重な機会となった。

厚木募集案内所は「今後も地域社会に根ざした活動を通じ、防衛基盤の育成に尽力していきたい」としている。



集まった参加者



賑わうパネル前



説明を受ける参加者